令和5年度事業計画

1　100周年後の大分支部運営について

(1)新型コロナウィルス感染症の現行2類相当から5類への移行決定を受け、「学生と先輩との交流会」や「職域交流会」など、まずは、大分支部の基盤となる各種交流会事業の再開を目指す。

(2)親睦会事業については、若い世代や会員家族にも呼びかけ幅広い層からの参加を促進する。

(3)四極会本部において議論されている「100周年以降の四極会の課題」について、本部とも連携を図りながら、できるところから取り組みを始める。

2　各種交流会を開催し、会員相互交流の場を提供

(1)「職域交流会」の開催

職域企業や大分市内の職域支部等に現役で勤務する若手会員の交流を図る。
実施時期は流動的に検討。

(2)「学生と先輩との交流会」開催

経済学部学生と市内の企業や役所に勤務する先輩とが意見交換。
経済学部と協議しながら実施時期や企画・運営内容を検討。

(3)女性部会「桃優会」のバックアップ

女性部会への参加を働きかける等、バックアップを心掛ける。

3『四極大分』NO.30号の発行

7月より原稿を募集、3回の編集委員会で検討の上、10月下旬発行予定
24頁、1，900部配布予定

4　各種親睦会の開催

会員が趣味の活動を通じて交流し、楽しむことを目的に実施。

①ゴルフ大会　4月、　10月　　②登山会　　7月、11月
③囲碁大会　　8月　　④麻雀大会　　9月
⑤歩こう会　　11月、3月

⑥芸術文化祭「自遊展」については、これまで100周年記念事業において相応な役割を果たしてきた。100周年後は、自遊展幹事会の意見を踏まえ、新たな幹事体制を整えるとともに、今後の在り方を検討するため、当分の間、充電期間を置くこととする。

尚、親睦会特別会計は、令和5年度末を以て繰越金を一般会計に繰り入れして、令和6年度より廃止とする。